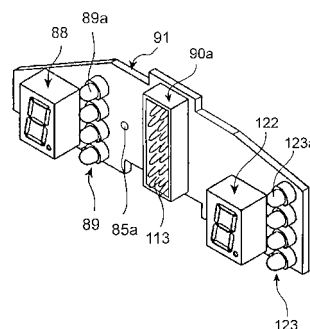




【特許請求の範囲】

【請求項 1】

大当たり抽選を行う大当たり抽選手段と、
前記大当たり抽選の契機となり得る入賞が行われる入賞口と、
前記大当たり抽選の結果を特別図柄で表示する特別図柄表示装置と、
前記大当たり抽選手段による大当たり抽選の結果を飾り図柄で表示する画像表示装置と
、
複数の発光体の駆動にて前記大当たり抽選の複数回分に対応する表示を行う大当たり
抽選保留表示装置と、
前記入賞口を所定時間開放するための開放抽選を行う開放抽選手段と、 10
前記開放抽選の契機となり得る入球が行われる入球ゲートと、
前記開放抽選の結果を普通図柄で表示する普通図柄表示装置と、
複数の発光体の駆動にて前記開放抽選の複数回分に対応する表示を行う開放抽選保留
表示装置とを備える遊技機において、
前記特別図柄表示装置、前記普通図柄表示装置、前記大当たり抽選保留表示装置及び前
記開放抽選保留表示装置が共通の基板に実装されるとともに、
当該基板が、遊技機を統括的に制御する主基板へ電氣的に接続され、
前記画像表示装置がサブ基板へ電氣的に接続され、
前記特別図柄表示装置、前記普通図柄表示装置、前記大当たり抽選保留表示装置及び前
記開放抽選保留表示装置の前面を、前方から視認可能に保護する保護部材を備える、 20
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記基板には、前記特別図柄表示装置、前記普通図柄表示装置、前記大当たり抽選保留
表示装置及び前記開放抽選保留表示装置を遊技機本体側に電氣的に接続するためのコネク
タプラグ及びコネクタソケットのうち何れか一方が実装されていることを特徴とする請求
項 1 に記載の遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、パチンコ機等の遊技機に関し、詳しくは、各種情報を表示する表示装置を備 30
える遊技機に関する。

【背景技術】

【0002】

一般に、遊技機、例えばパチンコ機として、球受け皿に滞留している遊技球が、発射ハ
ンドルの操作に応じて遊技盤上に打ち出された後、遊技盤面上の障害釘や風車等に導かれ
つつ盤面を流下して、各種入賞口に入球し、或いは入球せずに遊技盤下部のアウト口に流
入するように構成されたものが知られている（例えば、特許文献 1 参照）。

【0003】

このようなパチンコ機では、一般入賞口に入球した際にそれに対応した個数の遊技球が
払い出され、また始動チャッカーに入球した際にはこれに基づいて大当たり抽選が行われ 40
ると共に所定数の遊技球が払い出され、当該抽選の結果に応じて、遊技盤の中央部分に設
けられた液晶等の図柄表示装置の画面上で所定の演出表示が行われる。大当たりの発生時
には、アタッカーと呼ばれる大入賞口が開放し、入球に対応して多量の遊技球が払い出さ
れる状態となる。

【0004】

上記パチンコ機として、大当たり抽選の結果を特別図柄で表示する特別図柄表示エリア
と、大当たり抽選の結果を特別図柄に対応する飾り図柄で表示する飾り図柄表示エリア（
図柄表示装置）と、複数の発光ダイオード（以下、LEDとも言う）を点灯又は消灯させ
ることで大当たり抽選の複数回分に対応する表示を行う始動入賞記憶表示器とを備えた
ものが知られている（例えば、特許文献 2 参照）。 50

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献1】特開2003-236210号公報

【特許文献2】特開2000-325608号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

ところで、上記特許文献2に記載されたパチンコ機にあっては、特別図柄表示装置としての特別図柄表示エリアと、保留表示装置としての始動入賞記憶表示器が遊技領域内の離れた位置に個別に設置されているため、その設置工程が必ずしも簡便とは言い難かった。そのため、特別図柄表示装置及び保留表示装置の設置を容易に行うことができ、しかも設置に要するスペースを可及的に小さく抑えて装置全体のコンパクト化に寄与することができる構造が切望される。またこのような問題は、遊技中に上記始動チャッカーを所定時間ずつ開放させるために行われる開放抽選の結果を普通図柄で表示（つまり、普通図柄として可変表示器の表示数字や記号等を連続的に変化）させる普通図柄表示装置と、複数のLEDを点灯又は消灯させることで上記開放抽選の複数回分に対応する表示を行う開放抽選保留表示装置とに関しても同様であった。

10

【0007】

そこで本発明は、特別図柄表示装置と大当たり抽選保留表示装置の双方、普通図柄表示装置と開放抽選保留表示装置の双方、或いはこれら装置の全てをコンパクトにまとめ、かつその設置を極めて容易に行い得るように構成し、もって上述した課題を解決した遊技機を提供することを目的とするものである。

20

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明は（例えば図1ないし図11参照）、所定の抽選を行う抽選手段（95，119）と、前記所定の抽選の契機となり得る入賞が行われる入賞部（16）と、前記所定の抽選の結果を図柄で表示する図柄表示装置（88，122）と、複数の（例えば4個）の発光体（89a，123a）の駆動にて前記所定の抽選の複数回分（例えば4回分）に対応する表示を行う保留表示装置（89，123）とを備える遊技機（1）において、

30

前記図柄表示装置（88，122）及び前記保留表示装置（89，123）が共通の基板（91）に実装され、かつ、

前記基板（91）には、前記図柄表示装置（88，122）及び前記保留表示装置（89，123）を遊技機本体（2，3）側に電気的かつ機械的に接続するためのコネクタプラグ（90a）及びコネクタソケット（90b）のうち何れか一方が実装されてなる、ことが好ましい。

【0009】

本発明によると、図柄表示装置及び保留表示装置が共通の基板に実装され、この基板に、図柄表示装置及び保留表示装置を遊技機本体側に電気的かつ機械的に接続するためのコネクタプラグ及びコネクタソケットのうち何れか一方が実装されるので、図柄表示装置及び保留表示装置の双方を1つの基板上にまとめた形でコネクタ装着できることで、実装工程が極めて容易になると共に、仕上がり状態がコンパクトになる。

40

【0010】

本発明は（例えば図1、図5及び図6参照）、前記抽選手段が、大当たり抽選を行う大当たり抽選手段（95）からなり、

前記入賞部が、前記大当たり抽選の契機となり得る入賞が行われる入賞口（16）からなり、

前記図柄表示装置が、前記大当たり抽選の結果を特別図柄で表示する特別図柄表示装置（88）からなり、

前記保留表示装置が、複数の発光体（89a）の駆動にて前記大当たり抽選の複数回

50

分（例えば４回分）に対応する表示を行う大当たり抽選保留表示装置（８９）からなる、ことが好ましい。

【００１１】

本発明によると、抽選手段が、大当たり抽選を行う大当たり抽選手段からなり、入賞部が、大当たり抽選の契機となり得る入賞が行われる入賞口からなり、図柄表示装置が、大当たり抽選の結果を特別図柄で表示する特別図柄表示装置からなり、保留表示装置が、複数個の発光体の駆動にて大当たり抽選の複数回分に対応する表示を行う大当たり抽選保留表示装置からなる場合、特別図柄表示装置と大当たり抽選保留表示装置とを１つの基板上にまとめた形でコネクタ装着でき、実装工程が極めて容易になると共に、仕上がり状態がコンパクトになる。

10

【００１２】

なお、本発明に係る遊技機は、始動入賞口への入賞を契機とした大当たり抽選に当選した際に、通常は閉塞しているアタッカーを開放させ、所定時間が経過した時点又は所定個数の遊技球がアタッカーに入賞した時点で閉塞させる動作を所定ラウンド数だけ繰り返す構成の第１種特別電動役物と、遊技領域に始動入賞口と該始動入賞口への入賞に基づいて開閉する特定領域を含んだ特別入賞装置とを有し、該特別入賞装置の開放中に遊技球が入球し、更に当該遊技球が特定領域に入賞した時点で大当たりを発生させる構成の第２種特別電動役物と、遊技領域に備えた所謂オープンチャッカーへの入賞時に開放した電動式チューリップへの入球後の特定入賞口への入賞にて大当たりの権利を発生させる構成の第３種特別電動役物とに適用可能であるが、本発明における上記「入賞口」は、第１種及び第２種特別電動役物にあっては上記「始動入賞口」に対応し、また第３種特別電動役物にあっては上記「オープンチャッカー」に対応する。

20

【００１３】

本発明は（例えば図１、図９ないし図１１参照）、前記入賞部（１６）を所定時間開放するための開放抽選の契機となり得る入球が行われる入球ゲート（６１ａ，６１ｂ）を更に備え、

前記抽選手段が、前記開放抽選を行う開放抽選手段（１１９）からなり、

前記図柄表示装置が、前記開放抽選の結果を普通図柄で表示する普通図柄表示装置（１２２）からなり、

前記保留表示装置が、複数個（例えば４個）の発光体（１２３ａ）の駆動にて前記開放抽選の複数回分（例えば４回分）に対応する表示を行う開放抽選保留表示装置（１２３）からなる、ことが好ましい。

30

【００１４】

本発明によると、入賞部を所定時間開放するための開放抽選の契機となり得る入賞が行われる入球ゲートを更に備え、抽選手段が、開放抽選を行う開放抽選手段からなり、図柄表示装置が、開放抽選の結果を普通図柄で表示する普通図柄表示装置からなり、保留表示装置が、複数個の発光体の駆動にて前記開放抽選の複数回分に対応する表示を行う開放抽選保留表示装置からなるので、普通図柄表示装置と開放抽選保留表示装置とを１つの基板上にまとめた形でコネクタ装着でき、実装工程が極めて容易になると共に、仕上がり状態がコンパクトになる。また、これら普通図柄表示装置及び開放抽選保留表示装置とともに特別図柄表示装置及び大当たり抽選保留表示装置が１つの基板上にまとめられる場合には、実装工程が更に容易になり、仕上がり状態が一層コンパクトになる。

40

【００１５】

なお、本発明における上記「入賞」は、賞球を伴った遊技球の進入を意味する概念であり、上記「入球」は、少なくとも入球口に遊技球が入ることを意味し、遊技球の通過のみをも含む概念である。

【００１６】

本発明は（例えば図３、図５、図６、図９及び図１１参照）、前記遊技機本体（２，３）に備えた遊技領域（７ａ）にユニット役物（１２）が配置され、かつ、

前記基板（９１）が前記コネクタプラグ（９０ａ）又は前記コネクタソケット（９０ｂ）

50

）と前記ユニット役物（１２）とを介して前記遊技機本体（２，３）側に電気的かつ機械的に接続されてなる、ことが好ましい。

【００１７】

本発明によると、遊技機本体に備えた遊技領域にユニット役物が配置され、かつ基板がコネクタプラグ又はコネクタソケットとユニット役物とを介して遊技機本体側に電気的かつ機械的に接続される場合、図柄表示装置と保留表示装置とを１つの基板を介してユニット役物に極めて簡単にコネクタ装着することができ、これにより、組立て工程が簡便になり、これに伴うコストダウンも期待することができる。

【００１８】

本発明は（例えば図３、図５、図６、図９及び図１１参照）、前記ユニット役物（１２）が、裏側から前記基板（９１）の前記コネクタプラグ（９０ａ）又は前記コネクタソケット（９０ｂ）を結合させることにより前記図柄表示装置（８８，１２２）及び前記保留表示装置（８９，１２３）の双方を前記遊技機本体（２，３）の前方を向いた形で電気的かつ機械的に接続し得る装着部（１１２）を備えてなる、ことが好ましい。

【００１９】

本発明によると、ユニット役物が、裏側から基板のコネクタプラグ又はコネクタソケットを結合させることにより図柄表示装置及び保留表示装置の双方を遊技機本体の前方を向いた形で電気的かつ機械的に接続し得る装着部を備える場合、図柄表示装置と保留表示装置とをユニット役物の所定の装着位置に極めて簡単かつ確実に装着することができる。

【００２０】

本発明は（例えば図１ないし図１１参照）、前記図柄表示装置（８８，１２２）が、７セグメント表示装置である、ことが好ましい。

【００２１】

本発明によると、図柄表示装置が７セグメント表示装置である場合、装置が極めてシンプルになり、装着スペースが大幅に削減できる。

【００２２】

本発明は（例えば図１ないし図１１参照）、前記保留表示装置（８９，１２２）が、前記複数の発光体として発光ダイオード（８９ａ，１２３ａ）を配列した表示装置である、ことが好ましい。

【００２３】

本発明によると、保留表示装置が、複数の発光体として発光ダイオードを配列した表示装置である場合、装置が極めてシンプルになり、装着スペースが大幅に削減できる。

【００２４】

なお、上記カッコ内の符号は、図面と対照するためのものであるが、これは、発明の理解を容易にするための便宜的なものであり、特許請求の範囲の構成に何等影響を及ぼすものではない。

【発明の効果】

【００２５】

本発明によると、特別図柄表示装置と大当たり抽選保留表示装置の双方、普通図柄表示装置と開放抽選保留表示装置の双方、これら装置の全てをコンパクトにまとめることができる。

【図面の簡単な説明】

【００２６】

【図１】第１実施形態におけるパチンコ機の外部構造を示す正面図である。

【図２】本パチンコ機に搭載されたセンター飾りを単体で示す斜視図である。

【図３】センター飾りを示す正面図である。

【図４】図３に示したセンター飾りを同図A-A線に沿って切断して上方から見た状態で示す平面図である。

【図５】特別図柄表示装置及び保留表示装置のセンター飾りへの実装構造を示す分解斜視図である。

10

20

30

40

50

【図 6】図 5 の一部を拡大した状態で示す斜視図である。

【図 7】本パチンコ機の制御系を示すブロック図である。

【図 8】本パチンコ機による作動を説明するためのフローチャートである。

【図 9】第 2 実施形態における特別図柄表示装置と大当たり抽選保留表示装置及び普通図柄表示装置と開放抽選保留表示装置のセンター飾りへの実装構造を示す斜視図である。

【図 10】第 2 実施形態におけるパチンコ機の制御系の構成を示すブロック図である。

【図 11】第 3 実施形態における普通図柄表示装置及び開放抽選保留表示装置のセンター飾りへの実装構造を示す分解斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【0027】

10

以下、本発明に係る遊技機の実施形態として、遊技場等に設置されるパチンコ機を図 1 ないし図 11 に沿って説明する。

【0028】

なお、本実施の形態では、本発明に係る遊技機を所謂第 1 種特別電動役物のパチンコ機として述べるが、本発明はこれに限らず、所謂第 2 種特別電動役物や所謂第 3 種特別電動役物のパチンコ機にも適用可能であることは勿論である。上記第 1 種特別電動役物とは、始動入賞口への入賞を契機とした大当たり抽選に当選した際に、通常は閉塞しているアタッカーを開放させ、所定時間が経過した時点又は所定個数の遊技球がアタッカーに入賞した時点で閉塞させる動作を所定ラウンド数だけ繰り返し行う構成の特別電動役物である。上記第 2 種特別電動役物とは、遊技領域に始動入賞口と該始動入賞口への入賞に基づいて開閉する特定領域を含んだ特別入賞装置とを有し、該特別入賞装置の開放中に遊技球が入球し、更に当該遊技球が特定領域に入賞した時点で大当たりを発生させる構成の特別電動役物である。上記第 3 種特別電動役物とは、遊技領域に備えた所謂オープンチャッカーへの入賞時に開放した電動式チューリップへの入球後の特定入賞口への入賞にて大当たりの権利を発生させる構成の特別電動役物である。

20

【0029】

図 1 は本発明の実施形態におけるパチンコ機の外部構造を示す正面図、図 2 は当該パチンコ機に搭載されたセンター飾り（ユニット役物）を単体で示す斜視図、図 3 は当該センター飾りを示す正面図、図 4 は、図 3 に示したセンター飾りを同図 A-A 線に沿って切断して上方から見た状態で示す平面図、図 5 は、特別図柄表示装置及びこれに係る保留表示装置のセンター飾りへの実装構造を示す分解斜視図、図 6 は、図 5 の一部を拡大した状態で示す斜視図、図 7 は本パチンコ機の制御系を示すブロック図、図 8 は本パチンコ機による作動を説明するためのフローチャートである。

30

【0030】

< 第 1 実施形態 >

本実施形態のパチンコ機 1 は、発射ハンドル 9 の操作による発射装置（図示せず）の作動で遊技球（所謂パチンコ玉）を遊技盤 7 の遊技領域 7a に向かって打ち出しつつ遊技を行うもので、所謂確率変動等の大当たりが発生した状態でアタッカー 17（図 1 参照）に入球した遊技球に対応する数の遊技球を払い出すように構成されている。上記確率変動当たり（「確変当たり」とも言う）とは、抽選の結果、確変モードの大当たりが当選したとき、少なくとも当該確変モードによる遊技状態において次なる大当たりを引くまでの間、遊技者に有利な付加価値を付与し得る特殊状態を意味する。これに対し、当該特殊状態にならない大当たりとして「通常当たり」がある。

40

【0031】

図 1 に示すように、本パチンコ機 1 は、開口を有する枠体状の筐体 2 と、この筐体 2 に開閉可能に装着された前扉 3 とを有しており、前扉 3 の前面には、透明ガラス（図示せず）を有するガラス枠 5 が開閉可能に取り付けられている。透明ガラスの奥側には、遊技盤 7 が配置されている。前扉 3 における遊技盤 7 の左右上方には演出用照明装置 23 が配置されており、前扉 3 における遊技盤 7 の下方左部にはスピーカ（図示せず）を有する放音装置 8 が配置されている。また、ガラス枠 5 における右側部には、前扉 3 を筐体 2 側に施

50

錠又は解放するための施錠装置 4 が配置されている。なお、筐体 2 及び前扉 3 等から遊技機本体が構成されている。

【0032】

前扉 3 における遊技盤 7 の下方には上皿 13 が設けられており、上皿 13 における左上部には、賞球及び貸球を含む遊技球が供給される球供給口 18 が設けられ、上皿 13 における右上部壁面には、球貸ボタン 14a 及びプリペイドカード返却ボタン 14b が設けられている。

【0033】

また、前扉 3 における上皿 13 の下方には下皿 15 が配置されており、該下皿 15 の右部には、不図示の球発射装置を操作して遊技球を遊技領域 7a に向けて打ち出すための発射ハンドル 9 が設けられている。更に、下皿 15 の球収容部 15a には、上皿 13 からオーバーフローした遊技球が放出される球放出口 19 が形成されており、下皿 15 の左部には灰皿 24 が配置されている。なお、図 1 中の符号 10 は、発射ハンドル 9 の操作で発射された遊技球を遊技盤 7 の遊技領域 7a に導くガイドレールを示し、符号 22 はアウト口を示している。また、本パチンコ機 1 には、遊技中に遊技領域 7a にて入賞することなく落下してアウト口 22 に入り込んだ遊技球をパチンコ機背面側に導くアウト球通路（図示せず）が設けられている。

【0034】

遊技領域 7a の中央部には、大当たり抽選の結果を飾り図柄で表示する画像表示装置 6 を囲繞するように、遊技球ステージ S を有するセンター飾り（ユニット役物）12 が配設されている。センター飾り 12 の下部左右には、大当たり抽選に寄与しない一般の入賞が行われる入賞口 29、30 が配設されており、センター飾り 12 の下方には、始動チャッカー（入賞部、入賞口）16 とアタッカー 17 とが順次配設されている。

【0035】

センター飾り 12 の中央部分には開口 11 が形成されており、遊技盤 7 には、この開口 11 から露出するように上記画像表示装置 6 が設けられている。センター飾り 12 は、画像表示装置 6 の右側に振り分け装置 25 を備えており、この振り分け装置 25 は、鉛直方向で上下 2 段に重なるように配置された第 1 及び第 2 クルーン 33、34 を備えている。上記始動チャッカー 16 は、開放位置と閉止位置とに開閉動作するように、始動チャッカー開閉ソレノイド 103（図 7 参照）によって作動させられる。なお、始動チャッカー 16 の直上方には、所謂命釘としての一对の障害釘 70 が打ち込まれている。

【0036】

上記「クルーン」という語句は、底面が曲面状に形成され、かつこの底面に複数の表裏貫通孔を備え、底面上に転動されてきた遊技球を引き続き転動させつつ、貫通孔の何れかに落下させる役物を意味する。

【0037】

始動チャッカー 16 には、大当たり抽選実行の契機となり得る入賞が行われる。また、アタッカー 17 は、大当たり発生時に開放され、遊技盤 7 の遊技領域 7a に打ち出されて転動落下する遊技球 Ba を入賞させる。アタッカー 17 は、大当たり発生中、1 回の開放で 10 個の入球を完了した時点で閉じ、当該開閉動作を 15 回繰り返すように構成される。なお、これらの入球数並びに開閉動作の回数は、10 個や 15 回に限定されることはなく、必要に応じて適宜設定され得るものである。

【0038】

更に遊技領域 7a には、画像表示装置 6 の左上方に風車 44 が配設されており、画像表示装置 6 の下方における始動チャッカー 16 の左右には、スルーゲート（入球ゲート）61a、61b が配設されている。これらスルーゲート 61a、61b は、始動チャッカー 16 を開閉動作させるための抽選の契機となる遊技球通過が行われる役物である。

【0039】

そして、遊技領域 7a におけるスルーゲート 61a、61b、入賞口 29、30 及び始動チャッカー 16 等の周囲には、遊技球ステージ S から零れた遊技球や、発射されてから

10

20

30

40

50

遊技球ステージ S に関与せずに落下してくる遊技球を適宜散らし、或いは入球に導くようにするための障害釘 5 4 を含む多数の障害釘が打ち込まれている。また、遊技球ステージ S におけるワープ導入口 3 2 の周囲及びその上方側にも、遊技球を適宜散らし、或いは入球に導くようにするための障害釘 2 8 を含む多数の障害釘が打ち込まれている。このような本パチンコ機 1 では、遊技領域 7 に打ち出された遊技球 B a を始動チャッカー 1 6 等に、遊技球ステージ S を介して入球させ又は遊技球ステージ S を介さず直接入球させ得るように遊技が進められる。

【0040】

なお、本実施形態における「ワープ導入」という語句は、遊技領域 7 a に打ち出された遊技球を、当該遊技領域 7 a の比較的下側に位置する不図示の道釘等を経ることなく、始動チャッカー 1 6 の上に導くことを意味する概念である。また、上記「道釘」とは、遊技領域 7 a において始動チャッカー 1 6 左右に打ち込まれた複数本の障害釘（図示せず）の列を意味するもので、上方から転動落下してきた遊技球を始動チャッカー 1 6 方向に導く役割を担っている。

【0041】

また、アタッカー 1 7 の下方には、普通図柄表示装置 1 1 7 と、この普通図柄表示装置 1 1 7 の周囲に配置された 4 個の発光駆動で上記開放抽選の 4 回分に対応する表示を行う開放抽選保留表示装置 1 1 8 とが設けられている。上記普通図柄表示装置 1 1 7 は、スルーゲート 6 1 a, 6 1 b への入球（球通過）の契機として行われる、始動チャッカー 1 6 を開放させるための開放抽選の結果を、普通図柄で表示するものである。

【0042】

次に、センター飾り 1 2 について図 2 ないし図 4 を参照して説明する。

【0043】

すなわち、図 2 ないし図 4 に示すように、センター飾り 1 2 は、上記開口 1 1 を中央部に有する略筒状の枠体 1 2 a を備えており、枠体 1 2 a の周囲には、その複数箇所から外方に張り出すようにブラケット部 2 7 が形成されている。各ブラケット部 2 7 には、夫々枠体 1 2 a を遊技盤 7 に埋め込んだ形でネジ止めするために表裏貫通した孔 2 7 a が形成されている。

【0044】

枠体 1 2 a は、その上部中央にワープ導入口 3 2 を有しており、このワープ導入口 3 2 から図の右下方に次第に細くなるように湾曲する形状の稲妻模様 3 1 を有している。また、枠体 1 2 a 下部におけるブラケット部 2 7 には、遊技球ステージ S の所定部位に連通する球放出口 5 3 が形成されており、この球放出口 5 3 は、始動チャッカー 1 6 の直上方に位置して、放出する遊技球 B a が一對の障害釘 7 0 の間を通過して始動チャッカー 1 6 にはば確実に（つまり、97～99%の確率で）入賞し得るように構成されている。

【0045】

センター飾り 1 2 は更に、開口 1 1 の右方に、ワープ導入口 3 2 と遊技球ステージ S との間に配置されて、ワープ導入口 3 2 から導入された遊技球 B a の進路を振り分ける振り分け装置 2 5 を備えている。遊技球ステージ S は、振り分け装置 2 5 にて振り分けられたルートの遊技球 B a を始動チャッカー 1 6 に比較的高い確率（97～99%（つまり、略 100%））で入賞させ得る第 1 ステージ S₁ と、振り分け装置 2 5 にて振り分けられたルートの遊技球 B a を始動チャッカー 1 6 に比較的低い確率（0～96%、より好ましくは 35～45%）で入賞させ得る第 2 ステージ S₂ とを備えている。なお、振り分け装置 2 5 によって振り分けられるルートには、第 1 ステージ S₁ 及び第 2 ステージ S₂ へのルート以外に、第 2 クルーン 3 4 から落下した際に遊技球ステージ S の外方に放出されるルートも含まれる。

【0046】

遊技球ステージ S、即ち第 1 ステージ S₁ 及び第 2 ステージ S₂ は夫々、左右に比較的長尺に延在する平坦面として形成されると共に、同図右方から左方に向かって下降するように傾斜して形成されている。つまり、第 1 及び第 2 ステージ S₁, S₂ は、同図右方（

10

20

30

40

50

一側)から遊技球ステージSの左右幅方向の左方(他側)に向かって徐々に下降するように傾斜して形成されている。この傾斜の角度 θ (図3参照)は、 $2\sim 5^\circ$ の範囲内で適宜設定することができるが、 4° に設定することが、遊技球Baの転がり状態を円滑にする上で好ましい。

【0047】

また、遊技球ステージS、即ち第1ステージ S_1 及び第2ステージ S_2 は夫々、遊技機本体の奥側から手前側に向かって徐々に下降するように傾斜する遊技球転動面として構成されている。この傾斜角度は、 $2\sim 5^\circ$ の範囲で適宜設定することができるが、パチンコ機1全体の所謂ネカセ(通常は後方側に 1° 傾斜)に鑑み、 5° に設定することが、遊技球Baの転がり状態を円滑にする上で好ましい。つまり、奥側から手前側への傾斜が 5° の場合、ネカセ分の 1° が減算されて 4° となり、最良の傾斜状態が得られることになる。

10

【0048】

第1ステージ S_1 は、同図の右側に配置された振り分け装置25から送られた遊技球Baを図の右方から左方に向かって転動させる平坦状の転動面71と、該転動面71の奥側及び手前側の2面を区画する側壁41、42と、転動面71の最後部、つまり傾斜に沿った最も低い部分に、転動移動してきた遊技球Baを全て球放出口53に導く球導入口45とを備えている。側壁41、42の転動面71側を向く内面には、発光ダイオード(LED)が埋め込まれており、その照射光が転動面71を適時照明することとなる。第1ステージ S_1 における上記転動面71は、遊技球Baを1個ずつ転動案内できる程度の奥行き幅に構成されている。互いに対向して立設された側壁41、42の内面には、第1ステージ S_1 の長手方向に沿って互い違いに(つまり千鳥状に)配置された転動速度抑制用の複数の突部43が形成されている。

20

【0049】

第2ステージ S_2 は、同図の右側に配置された振り分け装置25から送られた遊技球Baを図の右方から左方に向かって転動させる平坦状の転動面72と、該転動面72の奥側及び手前側の2面を区画する側壁42、73と、転動面72の最後部の一側部に形成されて放出口53に連通する球導入口49とを備えている。つまり、この球導入口49は、第2ステージ S_2 における傾斜に沿った最も低い部分に、転動移動してきた複数の遊技球Baのうちの一部を球放出口53に導くように設けられている。球導入口49の周囲には、転動面72の左方への更なる転動移動を阻止して球導入口49への落下を確実にさせるための保護枠50が形成されている。

30

【0050】

第2ステージ S_2 における上記転動面72は、遊技球Baを複数個ずつ転動案内できるような、第1ステージ S_1 より広い奥行き幅(約3倍)に構成されている。互いに対向して立設された側壁42、73の内面には、第2ステージ S_2 の長手方向に沿って互い違いに(つまり千鳥状に)配置された転動速度抑制用の複数の突部46が形成されている。また転動面72には、振り分け装置25側における遊技者側(図の手前側)から落下案内溝52に向かって順に千鳥状に位置する9個の凸部47が設けられている。凸部47の当該個数は9個に限定されることはなく、必要に応じて設計時に適宜変更され得るものである。

40

【0051】

上記複数の凸部47では、最後部の凸部47Aに対する遊技球Baの方向や強さを含む弾接状況に応じて、球導入口49への入球度合いが変わる。複数の凸部47は、夫々透明材料からなり、球面状に上方に突出する形状を呈すると共に、各中心部47aは、転動面72内に埋め込まれたLEDからの光を上方に向けて射出するように形成される。

【0052】

なお、上記透明材料の「透明」という語句は、濁りなく完全に透過する状態のみならず、内方のLEDから問題無く光照射させ得る全ての状態を含む概念である。

【0053】

50

ところで、第2ステージ S_2 の最も左側の位置には、図1に示すスルーゲート61aの上方に位置するように位置決めされた落下案内溝52が形成されている。この落下案内溝52は、遊技球ステージSの前後方向（紙面手前－奥方向）に延在するように形成されており、第2ステージ S_2 の転動面72を転動してきて球導入口49に入球できなかった遊技球Baをステージ前方側に案内できるように、奥側から手前側に向かって徐々に下降するように傾斜して形成されている。

【0054】

一方、振り分け装置25は、図2及び図3の上方から見た平面視（図4参照）において重なるように上下2段に配置された第1及び第2クルーン33、34を備えている。鉛直方向上方に位置する第1クルーン33側には、ワープ導入口32から導入されて、上記稲妻模様31内の案内溝74（図3参照）を転動移動した後、垂直方向案内溝67（図3参照）を通して落下する遊技球Baを放出する放出口56が設けられている。

【0055】

第1クルーン33には、放出口56から放出された遊技球Baを、裏面に固定された案内樋62を介して下方の第2クルーン34側に落下させるための貫通孔35と、裏面に固定された案内樋63を介して第2クルーン34の下部側の排出口66に放出するための貫通孔36とが、センター飾り12の左右方向（つまり、図1ないし図4における左右方向）に並んで配置されている。なお、図3中の符号75は、演出用の照明装置を示している。

【0056】

また、下方に位置する第2クルーン34側には、上方の第1クルーン33から案内樋62を介して放出口57から放出された遊技球Baを、裏面に固定された案内樋64を介して第1ステージ S_1 に導入するための貫通孔37と、裏面に固定された案内樋65を介して、第2ステージ S_2 の右前端部の当接部材51の振り分け部51aに落下させるための貫通孔38とが、センター飾り12の左右方向（つまり、図1ないし図4における左右方向）に並んで配置されている。

【0057】

そして、図2に示すように、放出口56から第1クルーン33に至るまでの経路には、同図の左方に向かって下降するように傾斜する傾斜案内面58が形成されている。また、放出口57から第2クルーン34に至るまでの経路にも、同様の形状を有する傾斜案内面が形成されている。

【0058】

また、図2及び図3に示すように、センター飾り12における開口11の上部には照明ユニット115が配置されており、開口11の右端部には、振り分け装置25の左端部にあって上下方向に延設された照明装置39が配置されている。この照明装置39は、長手方向に沿って一定間隔で配置された状態で前方を向く複数の射出窓40を備えると共に、これら射出窓40より少数で長手方向に沿って配置された不図示の射出窓を備えている。射出窓40は、遊技者に対し光照射して種々の演出を行うためのものであり、不図示の上記射出窓は、振り分け装置25側に光照射して第1及び第2クルーン33、34及びその近傍を照明するためのものである。

【0059】

ここで、上記照明ユニット115の詳細な構造について図5及び図6に沿って説明する。両図に示すように、照明ユニット115は、センター飾り12の枠体12aに固定用ネジscで固定される上部飾り部材80及びレンズフレーム84と、このレンズフレーム84を介して枠体12a側に固定されるレンズ部材82、83及び電飾基板81とを有している。上部飾り部材80は、前方に突出するネジ止用のボス部80a、及び後方に突出するネジ止用のボス部80bを有している。

【0060】

図3及び図5に示すように、センター飾り12の照明ユニット115における同図左側部には、裏側から電飾基板91のコネクタプラグ90aを結合させることにより特別図柄

10

20

30

40

50

表示装置 8 8 及び大当たり抽選保留表示装置 8 9 の双方を遊技機本体 (2 , 3) の前方を向いた形で電気的かつ機械的に接続し得る装着部 1 1 2 を有している。コネクタプラグ 9 0 a は、図 6 の状態においてコネクタソケット 9 0 b 側に突出する多数の導通ピン 1 1 3 を備えている。

【 0 0 6 1 】

特別図柄表示装置 8 8 は、大当たり抽選の結果を特別図柄で表示するものであり、7 セグメント表示装置によって構成されている。

【 0 0 6 2 】

大当たり抽選保留表示装置 8 9 は、複数個 (本実施形態では 4 個) を図の上下方向 (縦方向) に配列した L E D (発光体) 8 9 a を点灯又は消灯させた発光駆動を行うことにより、大当たり抽選の複数回分 (本実施形態では 4 回分) に対応する表示を行う (つまり、大当たり抽選の結果を表示する) ものである。

【 0 0 6 3 】

電飾基板 9 1 には、特別図柄表示装置 8 8 及び大当たり抽選保留表示装置 8 9 が実装されると共に、これら特別図柄表示装置 8 8 及び大当たり抽選保留表示装置 8 9 を、上部飾り部材 8 0 側に配設したコネクタソケット 9 0 b と、センター飾り 1 2 とを介して遊技機本体 (2 , 3) 側に電気的かつ機械的に接続するためのコネクタプラグ 9 0 a が実装されている。図 6 において、コネクタソケット 9 0 b は、視認を容易にするため上部飾り部材 8 0 から離間させた形で二点鎖線で描いているが、実際には、上部飾り部材 8 0 の裏面側に固着されているため同図の状態では視認することはできない。なお、上記電飾基板 9 1 に、コネクタプラグ 9 0 a に代えてコネクタソケット 9 0 b を実装し、かつコネクタプラグ 9 0 a を上部飾り部材 8 0 側に配設することによっても、同様の作用効果が得られることは勿論である。

【 0 0 6 4 】

電飾基板 9 1 は、上述したように、上部飾り部材 8 0 に裏面側から固定される小型の基板からなり、図 3、図 5 及び図 6 に示すように、左側部に特別図柄表示装置 8 8 が実装され、略中央部に大当たり抽選保留表示装置 8 9 が実装され、右側部にコネクタプラグ 9 0 a が実装されている。電飾基板 9 1 における大当たり抽選保留表示装置 8 9 とコネクタプラグ 9 0 a との間には、固定用ネジ s c を貫通して当該電飾基板 9 1 を上部飾り部材 8 0 側に固定するための貫通孔 8 5 a が形成されている。また、上部飾り部材 8 0 における装着部 1 1 2 には、表裏を貫通する開口部 8 0 c 等の開口が形成されており、開口部 8 0 c 等からセンター飾り前方に露出するように、特別図柄表示装置 8 8 の 7 セグメント用の保護レンズ 8 6 と、上下方向に 4 個のレンズ 8 7 a を配列して大当たり抽選保留表示装置 8 9 の L E D 8 9 a の前部を覆うレンズ部材 8 7 とが装着される。

【 0 0 6 5 】

次に、本実施形態におけるパチンコ機 1 の制御系を図 7 に沿って説明する。すなわち、本制御系は、主基板 9 2 と、この主基板 9 2 に接続されたサブ基板 1 0 5 とを備えている。主基板 9 2 は、本パチンコ機 1 の動作全体を統括的に管理するものであり、当該パチンコ機 1 の動作全体を管理するシステムプログラム及び遊技用の実行プログラムが予め記憶された半導体メモリ等からなる記憶部 (図示せず) と、これらのプログラムを実行する不図示のマイクロプロセッサ (M P U) とを備えている。

【 0 0 6 6 】

主基板 9 2 は、入賞判定手段 9 3、入賞信号出力手段 9 4、第 1 抽選手段 9 5、第 2 抽選手段 9 6、遊技制御手段 9 7、保留手段 9 8、作動制御手段 9 9、作動判定手段 1 0 0、作動決定手段 1 0 1、及び特別図柄表示制御手段 1 0 2 を備えている。また主基板 9 2 には、特別図柄表示装置 8 8、大当たり抽選保留表示装置 8 9、始動チャッカー開閉ソレノイド 1 0 3、アタッカー開閉ソレノイド 1 0 4、及び始動チャッカー入賞検知センサ 1 0 9 が接続されている。

【 0 0 6 7 】

入賞判定手段 9 3 は、発射ハンドル 9 の操作で作動する発射装置 (図示せず) によって

遊技領域 7 a に打ち出された遊技球が始動チャッカー 1 6、入賞口 2 9、3 0、アタッカー 1 7 等の何れかに入賞したとき、当該入賞があった旨を判定する。

【0068】

入賞信号出力手段 9 4 は、入賞判定手段 9 3 によって入賞が判定されたとき、対応する始動チャッカー 1 6、入賞口 2 9、3 0、アタッカー 1 7 等に入賞した旨の入賞信号を出力する。

【0069】

第 1 抽選手段 9 5 は、入賞信号出力手段 9 4 からの入賞信号の入力時、最大保留球数（例えば 4 個）未満での入賞を契機として、次なる大当たりを当選させるまで遊技者に有利な付加価値を付与し得る特殊状態となる確率変動当たり、及び上記特殊状態とならない通常当たりのうちの何れか一方に当選するように、不図示の抽選用メモリから当たり当選乱数値を取得して、大当たり抽選を実行する。

【0070】

第 2 抽選手段 9 6 は、第 1 抽選手段 9 5 での大当たり抽選で確変当たりに当選した場合、不図示の演出用メモリに格納された演出乱数値に基づく抽選で、変動の結果、確変当たりに対応する「1 1 1」、「3 3 3」や「7 7 7」等の図柄が大当たり有効ライン上で最終的に揃う旨の変動パターンを決定し、その旨の変動パターンコマンドを出力する。なお、上記「大当たり有効ライン」は、大当たりを得るため図柄が一行に並ぶべき位置（ライン）を意味する。第 2 抽選手段 9 6 はまた、第 1 抽選手段 9 5 での大当たり抽選で通常当たりが当選した場合、演出乱数値に基づく抽選で、変動の結果、通常当たりに対応する「2 2 2」、「4 4 4」や「8 8 8」等の図柄が大当たり有効ライン上で最終的に揃う旨の変動パターンを決定し、この変動パターンコマンドを出力する。第 2 抽選手段 9 6 はまた、第 1 抽選手段 9 5 での大当たり抽選で外れた場合、演出乱数値に基づく抽選で、変動の結果、外れに対応する「2 5 2」、「4 6 4」や「8 3 8」等の図柄が大当たり有効ライン上で最終的に揃う旨の変動パターンを決定し、この変動パターンコマンドを出力する。

【0071】

遊技制御手段 9 7 は、予め設定された演出データや第 2 抽選手段 9 6 での抽選結果に応じて、画像表示装置 6 に表示すべき演出内容に関する信号を、制御コマンドと共にサブ基板 1 0 5 の表示制御手段 1 0 7 に送信する。

【0072】

保留手段 9 8 は、第 2 抽選手段 9 6 から出力された変動パターンコマンドを受信し、始動チャッカー 1 6 への入賞の都度に行われた抽選の結果となる保留球として順次記憶する。当該記憶状況は、対応する信号として保留手段 9 8 から大当たり抽選保留表示装置 8 9 に送信され、最大 4 個の保留球として、4 個の LED 8 9 a を点灯又は消灯させることにより表示される。保留手段 9 8 は、保留球数 H が $0 < H < 5$ であるか否かを常時判定し、保留球数 H が 4 個表示されている間は、始動チャッカー 1 6 への入賞に拘わらず大当たり抽選は行わない。なお、保留球として点灯表示される保留球数は上記「最大 4 個」に限らず、例えば 3 個以下、又は 5 個以上として適宜設定することも可能である。

【0073】

そして保留手段 9 8 は、保留（記憶）している変動パターンコマンドを順次表示制御手段 1 0 7 に送信し、この送信した変動パターンコマンドに基づく演出表示が終了するまでは次の変動パターンコマンドを送信しないようにするための図柄変動禁止フラグを立てる（オンする）と共に、当該オンした図柄変動禁止フラグを解除する時間を計測するための図柄変動タイマ（図示せず）をセットし、変動パターンコマンドの送信に応じて保留球数を 1 デクリメントする。また保留手段 9 8 は、保留球の消費に応じて保留球数 H が $H < 4$ となった場合、第 1 抽選手段 9 5 で行われる始動チャッカー 1 6 への入賞に回答した大当たり抽選の結果を保留球として記憶し、保留球数を 1 インクリメントする。

【0074】

作動制御手段 9 9 は、作動決定手段 1 0 1 の作動開始決定の旨の信号に基づき、始動チャッカー開閉ソレノイド 1 0 3 に駆動信号を送って該ソレノイド 4 5 を作動させて始動チ

10

20

30

40

50

ャッカー１６を開放又は閉塞動作させる。更に作動制御手段９９は、アタッカー開閉ソレノイド１０４に駆動信号を送って該ソレノイド４１を作動させ、第１抽選手段９５での抽選による大当たり発生時にアタッカー１７を開放して所定数入賞が終了する（又は所定時間が経過する）毎に閉塞する動作を所定回数（所定ラウンド）だけ繰り返すように制御する。

【００７５】

作動判定手段１００は、始動チャッカー開閉ソレノイド１０３及びアタッカー開閉ソレノイド１０４を作動させるための条件を満たすか否かを判定する。つまり、始動チャッカー開閉ソレノイド１０３にあって、始動チャッカー１６の開閉の「条件を満たす」時とは、主基板９２において第１抽選手段９５の大当たり抽選とは別途行われる抽選で当選した場合である。アタッカー開閉ソレノイド１０４にあって、アタッカー１７の開放の「条件を満たす」時とは、所謂リーチ（所謂スーパーリーチ、ノーマルリーチを含む）の状態から３つの同じ図柄が大当たり有効ライン上で揃って大当たりが発生した場合であり、アタッカー１７の閉塞の「条件を満たす」時とは、大当たり発生時における全ての入賞を完了した場合である。

【００７６】

作動決定手段１０１は、作動判定手段１００からの判定信号を受けて、始動チャッカー開閉ソレノイド１０３、アタッカー開閉ソレノイド１０４の作動開始を夫々に決定する。

【００７７】

特別図柄表示制御手段１０２は、第１抽選手段９５での大当たり抽選の結果を表示するように特別図柄表示装置８８の７セグメントＬＥＤを作動制御する。

【００７８】

特別図柄表示装置８８は、７セグメント表示装置から構成されており、大当たり抽選の結果を特別図柄で表示するものである。なお、７セグメント表示装置としては、７セグメントＬＥＤに限らず、７セグメント状に構成されるものであれば液晶等を用いることも可能である。

【００７９】

大当たり抽選保留表示装置８９は、４個のＬＥＤ８９ａを発光駆動させることにより、大当たり抽選の４回分に対応する表示を行う（大当たり抽選の結果を表示する）ものである。

【００８０】

始動チャッカー開閉ソレノイド１０３は、作動制御手段９９から送信された駆動信号に応答してプランジャ（図示せず）を進退動作させて、始動チャッカー１６を開閉動作させる。

【００８１】

アタッカー開閉ソレノイド１０４は、作動制御手段９９から送信された駆動信号に応答してプランジャ（図示せず）を進退動作させて、アタッカー１７を開閉動作させる。

【００８２】

始動チャッカー入賞検知センサ１０９は、前述した第１ステージ導入検知センサ８２と同様の近接スイッチから構成されて、始動チャッカー１６内の遊技球通過経路に配置されるもので、始動チャッカー１６に進入した遊技球Ｂａの通過を検知し、その検知信号を主基板９２の第２遊技制御手段１０２に送信する。

【００８３】

一方、サブ基板１０５は、演出制御手段１０６及び表示制御手段１０７を有しており、サブ基板１０５には、放音装置８、演出用照明装置２３、及び画像表示装置６が接続されている。

【００８４】

演出制御手段１０６は、主基板９２中の上記マイクロプロセッサから供給される信号に従って、放音装置８、演出用照明装置２３を適時駆動して、遊技者の視覚及び聴覚に訴える演出表示を行う。

10

20

30

40

50

【0085】

表示制御手段107は、遊技制御手段97から送信された演出内容に関する信号に従って画像表示装置6を適時駆動し、大当たり抽選結果を中心とした内容の演出を、遊技者の視覚に訴えるように演出表示する。

【0086】

放音装置8、演出用照明装置23及び画像表示装置6は、上述したように各制御に応答して音、光等の発生により、通常時の演出や大当たり時における特別な演出等を行う。

【0087】

次に、本パチンコ機1による作用について、図8のフローチャートを併せて参照しつつ説明する。

【0088】

すなわち、本パチンコ機1に対面して着座した遊技者が発射ハンドル9を握り、適宜の角度に回動操作すると（ステップS1）、発射装置（図示せず）の作動によって遊技球が所定の時間間隔で遊技領域4に向けて連続的に発射される。すると、遊技盤7の遊技領域7aに打ち出されて転動落下する多数の遊技球は、始動チャッカー16や入賞口29、30に適時入賞し、或いは、これらに寄与せずに転動落下して、遊技領域7a最下部のアウト口22から遊技盤7背面側に排出される。

【0089】

つまり、遊技領域7aに向けて打ち出された多数の遊技球Baは、その一部がワープ導入口32から導入される。ワープ導入口32から導入された遊技球Baは、案内溝74（図3）を通して垂直方向案内溝67を落下し、不図示の落下速度抑制機構によって落下速度を軽減された後、放出口56から傾斜案内面58を経由して第1クルーン33の側壁33b内に放出され、この側壁33bの内面に沿って回転するように転動する。第1クルーン33上の遊技球Baは、摩擦抵抗等に起因して転動速度が弱まった段階で、球面状に形成されて低くなっている中心部分に導かれ、貫通孔35、36の何れかに落下することとなる。

【0090】

貫通孔35に落下した場合、遊技球Baは、案内樋62から傾斜案内面（図示せず）を経由して第2クルーン34上の側壁内に放出され、この側壁の内面に沿って回転するように転動する。そして、第2クルーン34上の遊技球Baは、摩擦抵抗等に起因して転動速度が弱まった段階で、第1クルーン33と同様形状の中心部分に導かれ、貫通孔37、38の何れかに落下することとなる。

【0091】

一方、第1クルーン33の貫通孔36に落下した場合、遊技球Baは、案内樋63から排出口66を経由して第2ステージS₂に向けて放出され、この第2ステージS₂をその傾斜に沿って図2の左方向に、複数の凸部47に任意に当接しつつ転動し、最後端の凸部47Aに適切な角度で当接する等の偶然的な要件を満たした場合、球導入口49に導入されて球放出口53から始動チャッカー16に入賞し、或いは球導入口49に入球できずに落下案内溝52から下方のスルーゲート61aに向けて落下されることとなる。なお、球導入口49に導入された場合であっても、障害釘70への当接状況により始動チャッカー16に入賞できない場合があることは言うまでもない。

【0092】

第2ステージS₂を遊技球Baが転動する途中、転動面72では各凸部47の中心部47aに対応するLEDが、制御部（図示せず）からの信号に응答して、予め定められたタイミングで流れるように円滑に発光し、あたかも格闘技のリングを選手が移動するように、遊技球Baに対する演出効果を高める。

【0093】

そして、第2クルーン34において貫通孔37に落下した場合、その遊技球Baは、第1ステージ導入検知センサ82によって通過が検知されると共に、案内樋64を介して第1ステージS₁の最右端部に放出され、転動面71の傾斜に沿って、その進行方向の左右

10

20

30

40

50

に位置して突出する転動速度抑制用の複数の突部 4 3 に交互に当接しながら緩やかに転動移動する。

【0094】

更に、最後部にて球導入口 4 5 に入球して球放出口 5 3 から始動チャッカー 1 6 に入賞することとなる。この際も、球導入口 4 9 に導入されても始動チャッカー 1 6 に入賞できない場合があることは言うまでもない。第 1 ステージ S_1 を遊技球 B a が転動する途中、側壁 4 1, 4 2 に埋め込まれた L E D が、制御部（図示せず）からの信号に応答して、予め定められたタイミングで流れるように円滑に発光し、あたかも格闘技のリングを選手が移動するように、遊技球 B a に対する演出効果を高める。

【0095】

なお、第 2 ステージ S_2 から落下する遊技球 B a は、その落下方向が、始動チャッカー 1 6 上の一对の障害釘 7 0 の間を通過して入球し得る方向と異なるとしても、当該障害釘 7 0 の左右に打ち込まれた不図示の所謂ジャンプ釘や、当該ジャンプ釘から左右方向に配列された道釘（図示せず）で弾かれることにより、所謂命釘である障害釘 7 0 に絡んでその間を落下して始動チャッカー 1 6 に入球することもある。

【0096】

ところで、上述したように始動チャッカー 1 6 や入賞口 2 9, 3 0 の何れかに遊技球 B a が入賞した場合、入賞判定手段 9 3 が当該入賞を判定し、かつ入賞信号出力手段 9 4 が入賞信号を出力する（ステップ S_2 ）。この際、保留手段 9 8 は、保留球 H が $0 < H < 5$ であるか否かを常時判定しており、 $0 < H < 5$ を満たすと判定したときには、保留している変動パターンコマンドを、遊技制御手段 9 7 を介して表示制御手段 1 0 7 に順次送信し、図柄変動禁止フラグをオンすると共に、図柄変動タイマをセットし、変動パターンコマンドの送信に応じて保留球数を 1 デクリメントする。また保留手段 9 8 は、当該保留球の消費に応じて保留球数 H が $H < 4$ となった場合、第 1 抽選手段 9 5 で行われる始動入賞口 2 6 a 又は 2 6 b への入賞に応じた大当たり抽選の結果を保留球として記憶し、保留球数を 1 インクリメントする。

【0097】

そして、大当たり抽選で当選した場合（ステップ S_3 ）、第 1 抽選手段 9 5 が当たりフラグをオンすると、第 2 抽選手段 9 6 が、演出用メモリに格納された演出乱数値に基づく抽選で、大当たりの種別、つまり確変当たり又は通常当たりに対応する変動パターンを決定する。

【0098】

これにより、ステップ S_4 において、画像表示装置 6 に表示されるべき当たり図柄がセットされ、第 2 抽選手段 9 6 は、その旨の変動パターンコマンドを出力すると共に、当該変動パターンコマンドに基づく演出表示が終了するまでは次の変動パターンコマンドを送信しないようにするために図柄変動禁止フラグをオンし、当該オンした図柄変動禁止フラグを解除する時間を計測するための図柄変動タイマをセットし、変動パターンコマンドの送信に応じて保留球数を 1 デクリメントする。一方、大当たり抽選で外れた場合には、演出用メモリに格納された演出乱数値に基づく抽選で、変動の結果、外れに対応する図柄が最終的に揃う旨の変動パターンが決定される。これにより、画像表示装置 6 に表示される外れ図柄がセットされ、第 2 抽選手段 9 6 は、その旨の変動パターンコマンドを出力すると共に、図柄変動禁止フラグをオンし、図柄変動タイマをセットし、変動パターンコマンドの送信に応じて保留球数を 1 デクリメントする。

【0099】

以上のようにして、遊技制御手段 9 7 が、画像表示装置 6 に表示すべき演出内容に関する信号を制御コマンドと共にサブ基板 1 0 5 の表示制御手段 1 0 7 に送信することに基づき、表示制御手段 1 0 7 が、画像表示装置 6 を適時駆動し、大当たり抽選結果に関する内容等を、遊技者の視覚に訴えるように演出表示することとなる（ステップ S_5 ）。

【0100】

そして、第 1 抽選手段 9 5 での抽選結果が画像表示装置 6 の画面上に表れると、作動制

10

20

30

40

50

御手段 99 が、作動決定手段 101 の作動開始決定の旨の信号に基づき、所定のタイミングでアタッカー開閉ソレノイド 104 に駆動信号を送り、当該ソレノイド 41 を作動させてアタッカー 17 を開放し、所定数入賞が終了する（又は所定時間が経過する）毎に閉塞する動作を所定回数（所定ラウンド）だけ繰り返させる。これにより、アタッカー 17 に入賞した遊技球に対応する多量の遊技球が球供給口 18 から上皿 13 に払い出されることとなる（ステップ S6）。

【0101】

本実施の形態によると、特別図柄表示装置 88 及び大当たり抽選保留表示装置 89 が共通の電飾基板 91 に実装され、この電飾基板 91 に、特別図柄表示装置 88 及び大当たり抽選保留表示装置 89 を遊技機本体側に電気的かつ機械的に接続するためのコネクタプラグ 90a（又はコネクタソケット 90b）が実装されるので、特別図柄表示装置 88 及び大当たり抽選保留表示装置 89 の双方を 1 つの電飾基板 91 上にまとめた形でコネクタ装着できることで、実装工程が極めて容易になると共に、仕上がり状態がコンパクトになるという効果が得られる。

【0102】

また、遊技機本体に備えた遊技領域 7a に画像表示装置 6 が配置され、かつ遊技領域 7a に、画像表示装置 6 を囲繞するようにセンター飾り 12 が配置され、電飾基板 91 がコネクタプラグ 90a（又はコネクタソケット 90b）とセンター飾り 12 とを介して遊技機本体側に電気的かつ機械的に接続されている。このため、特別図柄表示装置 88 及び大当たり抽選保留表示装置 89 の双方を 1 つの電飾基板 91 を介してセンター飾り 12 に極めて簡単に装着することができる。これにより、組立て工程が簡便になり、これに伴うコストダウンも期待することができる。

【0103】

更に、センター飾り 12 が、裏側から電飾基板 91 のコネクタプラグ 90a（コネクタソケット 90b）を結合させることにより特別図柄表示装置 88 及び大当たり抽選保留表示装置 89 の双方を遊技機本体の前方を向いた形で電気的かつ機械的に接続し得る装着部 112 を備えるので、特別図柄表示装置 88 及び大当たり抽選保留表示装置 89 をセンター飾り 12 の所定の装着位置に極めて簡単かつ確実に装着することができる。そして、特別図柄表示装置 88 が 7 セグメント表示装置からなるので、装置が極めてシンプルになり、装着スペースが大幅に削減できる。また、大当たり抽選保留表示装置 89 が、複数の LED 89a を配列した表示装置からなるので、装置が極めてシンプルになり、装着スペースが大幅に削減できる。

【0104】

<第 2 実施形態>

次に、本発明に係る第 2 実施形態について図 9 及び図 10 に沿って説明するが、本実施形態は、図 1 ないし図 8 に示した第 1 実施形態に比し、アタッカー 17 の下方に配置されていた普通図柄表示装置 117 及び開放抽選保留表示装置 118 を、普通図柄表示装置 122 及び開放抽選保留表示装置 123 として特別図柄表示装置 88 及び大当たり抽選保留表示装置 89 とともに電飾基板 91 に実装した点が異なるだけで、他の部分は略々同一なので、主要部分に同一符号を付して説明を省略する。

【0105】

なお、図 9 は、本実施形態における特別図柄表示装置と大当たり抽選保留表示装置及び普通図柄表示装置と開放抽選保留表示装置のセンター飾りへの実装構造を示す斜視図、図 10 は、本実施形態におけるパチンコ機の制御系の構成を示すブロック図である。

【0106】

図 9 に示すように、本実施形態における電飾基板 91 は、図柄表示装置 6 に示した電飾基板 91 に比して、図の横方向（左右方向）に略 2 倍程度幅広に形成されており、中央部分にコネクタプラグ 90a を固定して有すると共に、電飾基板 91 の左右幅方向の一侧（左側）に特別図柄表示装置 88 及び大当たり抽選保留表示装置 89 が実装され、電飾基板 91 の左右幅方向の他側（右側）に普通図柄表示装置 122 及び開放抽選保留表示装置 1

23が実装されている。

【0107】

普通図柄表示装置122は、特別図柄表示装置88と同様に7セグメントLEDから構成され、また開放抽選保留表示装置123は、大当たり抽選保留表示装置89と同様に上下方向に複数（本実施形態では4個）のLED123aを備えて構成されている。

【0108】

また、本実施形態の制御系は図10に示すように、図7の制御系の構成に加えて、主基板92に第3抽選手段119及び普通図柄表示制御手段120を備え、かつ当該主基板92に、スルーゲート球通過検知センサ121、普通図柄表示装置122、及び開放抽選保留表示装置123が接続されている。

10

【0109】

第3抽選手段119は、スルーゲート61a、61bへの遊技球通過をスルーゲート球通過検知センサ121が検知した際の検知信号の入力時、最大保留球数（例えば4個）未満での入賞を契機として、所定時間（確率変動当たり時にあっては例えば1～3秒、通常当たり時にあっては例えば0.1～0.5秒）だけ始動チャッカー16を開放動作させるか否かの開放抽選を、不図示の抽選用メモリから当選乱数値を取得しつつ実行する。

【0110】

普通図柄表示制御手段120は、第3抽選手段119での開放抽選の結果を表示するように普通図柄表示装置122の7セグメントLEDを作動制御する。

【0111】

スルーゲート球通過検知センサ121は、スルーゲート61a、61bに備えた不図示の近接スイッチから構成されており、これらスルーゲート61a、61bの何れかへの遊技球通過を検知し、その検知信号を第3抽選手段119に出力する。

20

【0112】

普通図柄表示装置122は、7セグメント表示装置から構成されており、開放抽選の結果を普通図柄で表示するものである。なお、7セグメント表示装置としては、7セグメントLEDに限らず、7セグメント状に構成されるものであれば液晶等を用いることも可能である。

【0113】

開放抽選保留表示装置123は、4個のLED123aを発光駆動させることにより、開放抽選の4回分に対応する表示を行う（開放抽選の結果を表示する）ものである。

30

【0114】

なお、本実施形態における第3抽選手段119、普通図柄表示制御手段120及びスルーゲート球通過検知センサ121と同様の機能を有する各手段及びセンサは、図示はしなかったが前述の第1実施形態の制御系においても図1の普通図柄表示装置117及び開放抽選保留表示装置118を制御するためのものとして具備していた。本第2実施形態にあっては、これらが具現化された形である。

【0115】

以上の構成を有する本第2実施形態では、上述した第1実施形態における効果に加えて、普通図柄表示装置122及び開放抽選保留表示装置123とともに特別図柄表示装置88及び大当たり抽選に係る大当たり抽選保留表示装置89が1つの電飾基板91上にまとめられることにより、実装工程が更に容易になり、仕上がり状態が一層コンパクトになるという効果が得られる。

40

【0116】

<第3実施形態>

次に、本発明に係る第3実施形態について図11に沿って説明するが、本実施形態は、図1ないし図8に示した第1実施形態に比し、電飾基板91に、普通図柄表示装置122及び開放抽選保留表示装置123を実装した点が異なるだけで、他の部分は略々同一なので、主要部分に同一符号を付して説明を省略する。なお、図11は、第3実施形態における普通図柄表示装置及び開放抽選保留表示装置のセンター飾りへの実装構造を示す分解斜

50

視図である。

【0117】

本実施形態では、図6に示した第1実施形態の構成と略々同様の構成を有するが、電飾基板91の左右幅方向の一侧（左側）には普通図柄表示装置122が実装され、かつ他側（右側）にはコネクタプラグ90a（又はコネクタソケット90bでも良い）が実装され、これらの間に開放抽選保留表示装置123が実装されている。

【0118】

以上の構成を有する本実施形態によると、普通図柄表示装置122と開放抽選保留表示装置123とを1つの電飾基板91上にまとめた形でコネクタ装着でき、実装工程が極めて容易になると共に、仕上がり状態がコンパクトになる。

10

【0119】

以上、本発明をその好適な実施の形態に基づいて説明したが、本発明の遊技機は、上記実施形態の構成にのみ限定されるものではなく、上記実施形態の構成から種々の修正及び変更を施した遊技機も、本発明の範囲に含まれる。

【符号の説明】

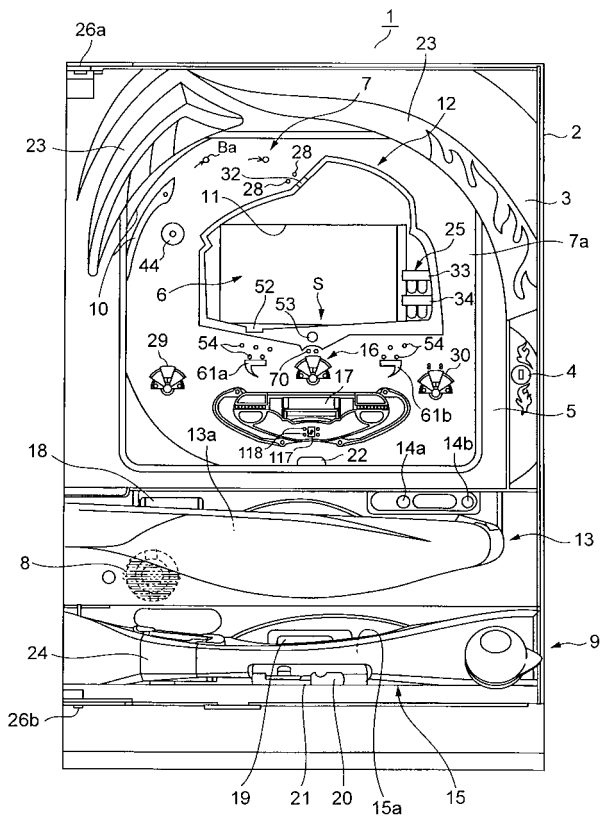
【0120】

- 1：パチンコ機（遊技機）
- 6：画像表示装置
- 7：遊技盤
- 7a：遊技領域
- 12：センター飾り（ユニット役物）
- 61a，61b：スルーゲート（入球ゲート）
- 86，87：保護レンズ，レンズ部材（保護部材）
- 88：特別図柄表示装置
- 89：大当たり抽選保留表示装置
- 89a：発光ダイオード（LED、発光体）
- 90a：コネクタプラグ
- 90b：コネクタソケット
- 91：電飾基板（基板）
- 92：主基板
- 95：第1抽選手段（抽選手段）
- 105：サブ基板
- 112：装着部
- 122：普通図柄表示装置
- 123：開放抽選保留表示装置
- 123a：発光ダイオード（LED、発光体）

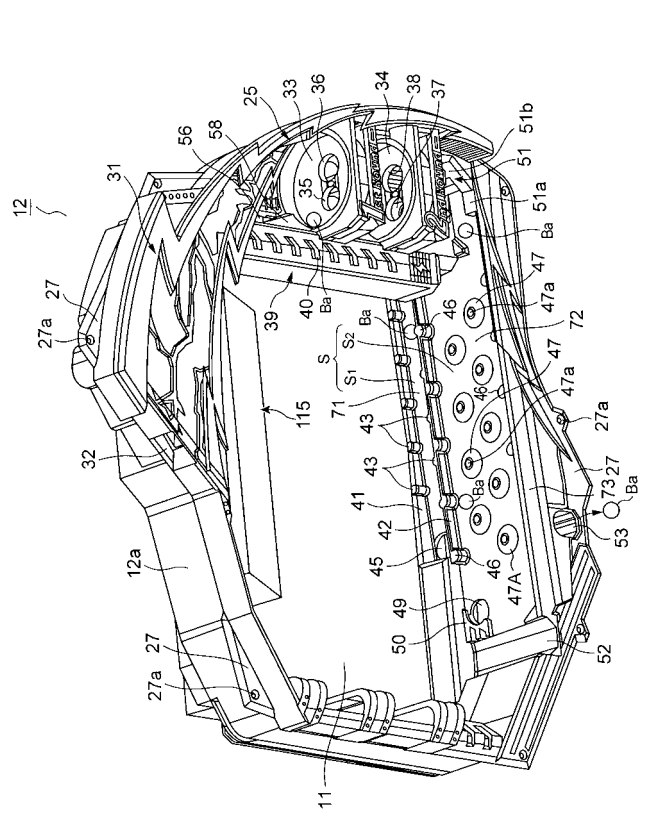
20

30

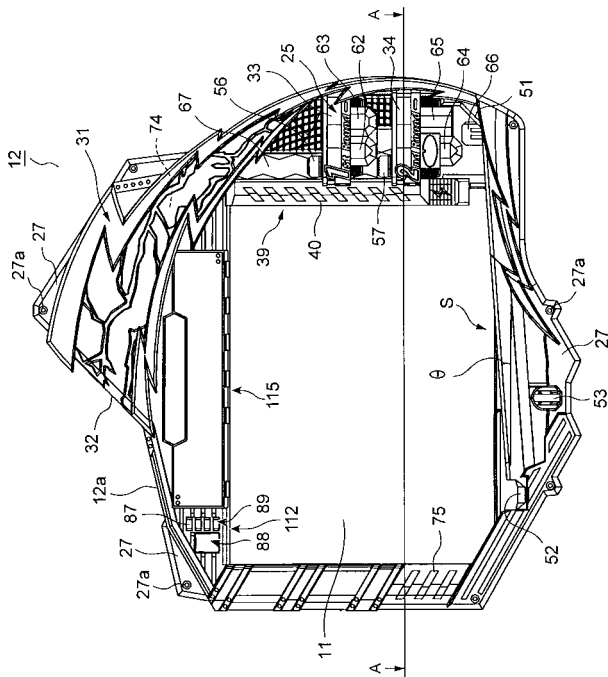
【図 1】



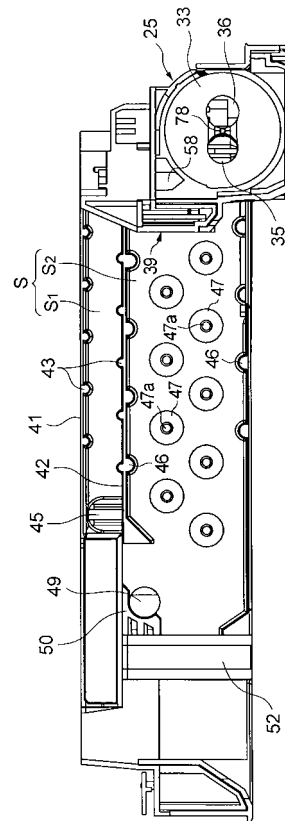
【図 2】



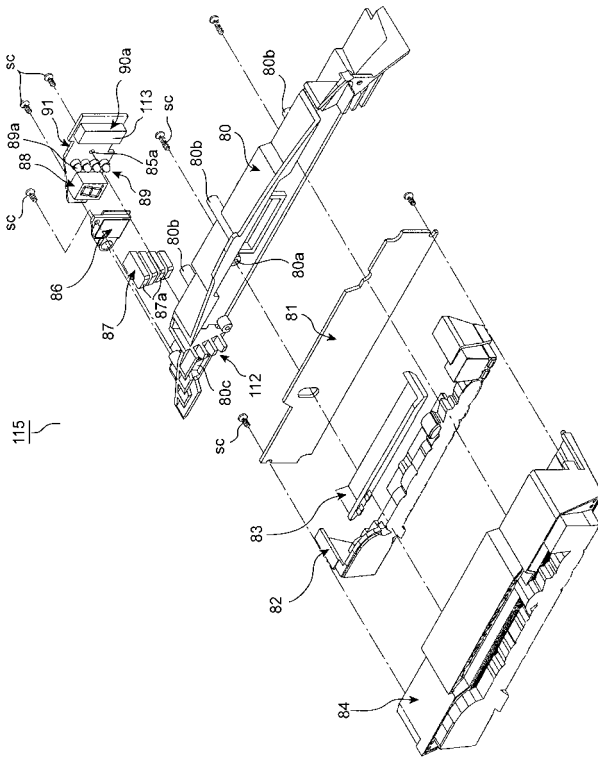
【図 3】



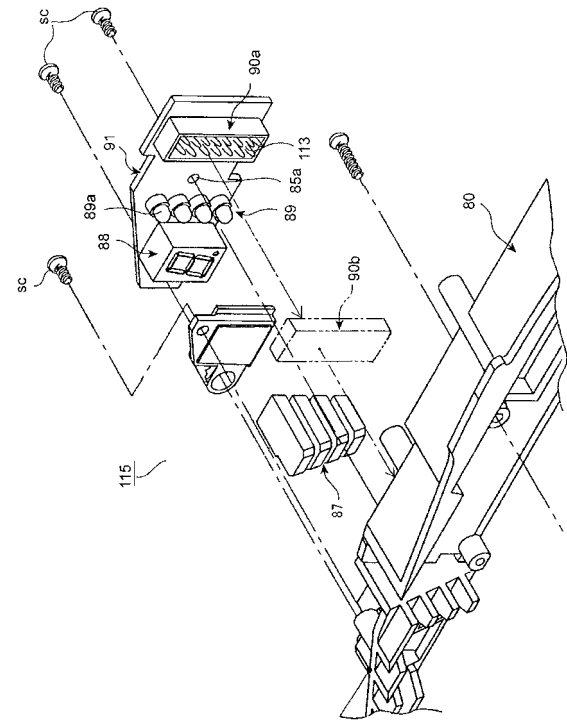
【図 4】



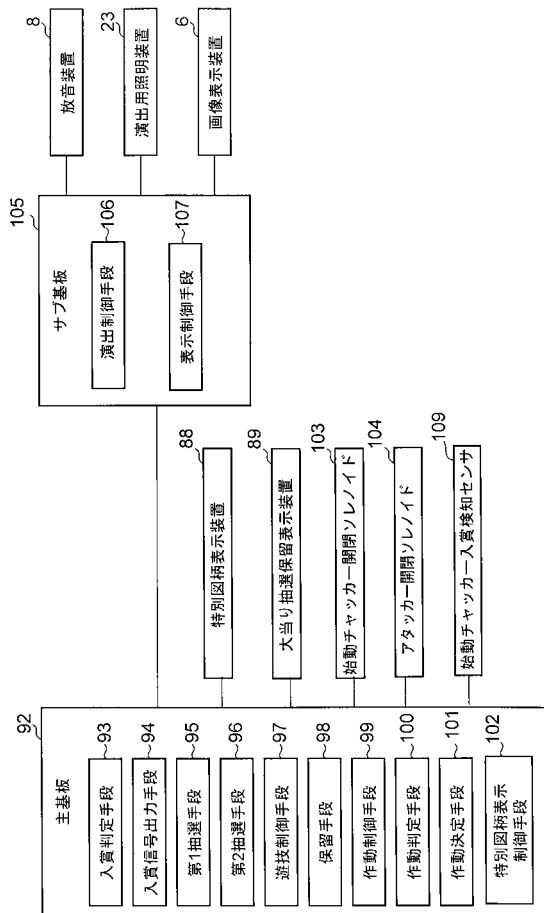
【図 5】



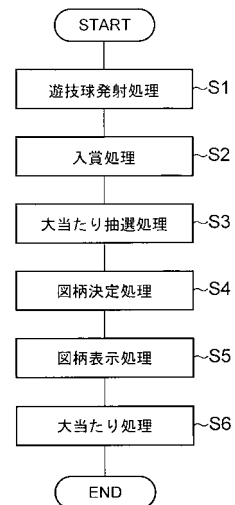
【図 6】



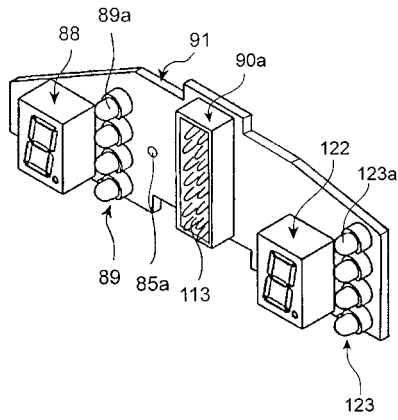
【図 7】



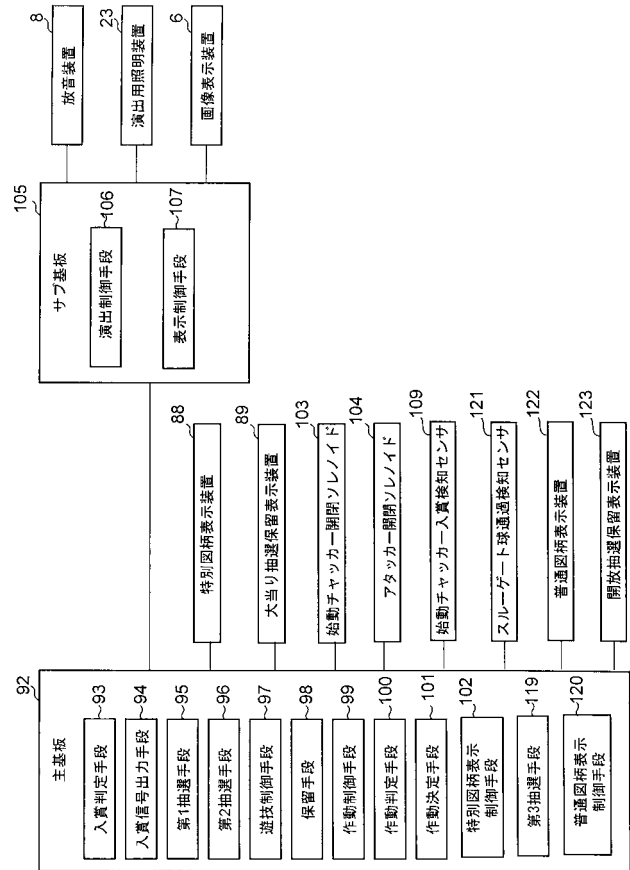
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【図 11】

